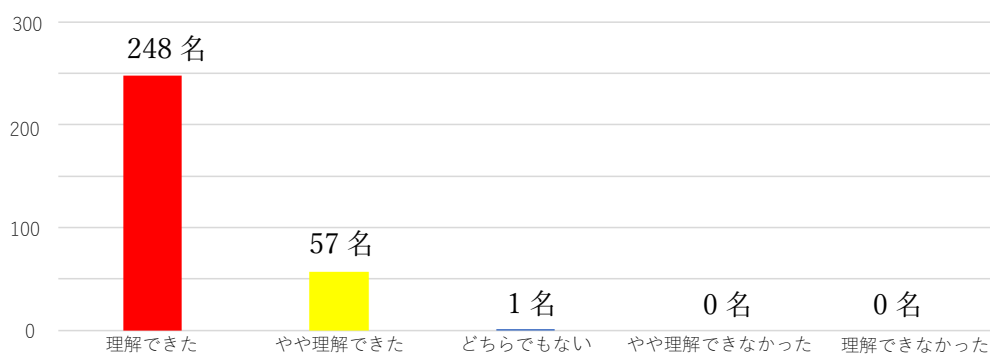


【オンデマンド配信】

アンケート1) 『採血と変動要因』の講義に対する理解度



レポート提出 306 名中、9 割以上の方が理解できたとご回答いただきました。

アンケート2) 本研究会のどのような点が特に役に立ちましたか (一例)

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

- \*新入職者だけでなく、経験者も改めて要点の振り返りができた。
- \*検査値の変動について、いろいろ知ることができてよかったです。検体を扱う時も注意して扱おうと思いました。

アンケート3) ご意見ご感想など (一例)

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

今回頂戴しましたご意見に対し、以下の通り、一部ご回答させていただきます。

**ご意見①**：基本的な内容で物足りない人もいるかもしれないが、知っておくべき事であるため、新人や部署異動したばかりの人、たまにしか関わらない人にとって良かったと思います。

**回答①**：ご意見ありがとうございます。検体検査担当者に限らず、沢山の方にご参加いただき、またご好評いただけていることを実感しています。今後も初心者からベテランの方まで幅広く注目していただける内容の研究会を開催できるよう班員一同努めて参ります。今後も皆様のご参加をお待ちしております。

ご意見②：今回の様に、採血を絡ませた多方面からの講演を望みます。

回答②： ご意見ありがとうございます。採血に関する研究会の開催を希望するご意見を複数いただきました。今後の研究会のテーマとして検討させていただきます。

## 設問と回答

設問1) 採血ができるのは、次のうちどの国家資格を有するものか。当てはまるものを全て選択してください。

- ①医師
- ②看護師
- ③薬剤師
- ④臨床検査技師
- ⑤理学療法士

正答) ①②④

設問2) 次のうち臨床検査技師が行える採血はどれか。1つ選択してください。

- ①輸血用血液の採血
- ②治療目的の採血
- ③検査を目的とした採血
- ④検査を目的とする採血であっても、臨床検査技師独自の判断
- ⑤薬剤を血管内へ注入

正答) ③

設問3) 採血時に起こる可能性がある合併症について、当てはまるものを全て選択してください。

- ①神経損傷
- ②血管迷走神経反射 (VVR)
- ③皮下血種
- ④感染症
- ⑤アレルギー

正答) ①②③④⑤

設問4) JCCLS 共用基準範囲において、性別により基準範囲が異なる項目ではないのはどれか。1つ選択してください。

- ①RBC
- ②クレアチニン

- ③尿酸
- ④HDL コレステロール
- ⑤アルブミン

正答) ⑤

設問5) 食事の影響について、食後、中性脂肪は上昇する。○か×か選択してください。

正答) ○

設問6) 日内リズムの影響について、血清鉄や T-Bil は午前中に高く、夕から晩にかけて低値となる。○か×か選択してください。

正答) ○

#### <まとめ>

2023年7月研究会は昨年に引き続きオンデマンド配信にて実施させていただきました。事前申し込み392名に対して、306名（うち県内171名、県外135名）の方がレポートを提出してくださいました。

今回は『採血と変動要因』をテーマに挙げ、採血と検査データに影響する様々な変動要因について、初心者からベテランの方まで分かり易い内容でお届けさせていただきました。

今回の研究会は沢山の方にご参加いただきました。また、アンケートで頂戴しましたご意見から、採血に関する研究会への関心度の高さが伺えました。採血を始められる方が多い時期かと存じます。基本の確認、そして検査データへの影響を整理することができた内容だったので、今後により注意して採血することを心掛けていきたいと思えます。

今回の研究会が皆様のご施設の精度維持・向上の一助となれば幸いに存じます。引き続き愛知県臨床検査技師会生物化学分析検査研究班をよろしく願いいたします。

以上

作成・回答編集・問い合わせ先：生物化学分析検査研究班

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 中央検査科  
伊藤 綾香

TEL：052-721-7171

E-MAIL：emc2206@nagoya-cu.ac.jp